

添架水管橋（橋梁添架管）における 落橋防止システムについて

添架水管橋（橋梁添架管）は、橋梁（道路橋など）の梁としての剛性を利用し、河川等を架空横断する水道鋼管路です。一方、独立水管橋は水道鋼管を主な梁構造部材として河川等を架空横断するものです。

添架水管橋（橋梁添架管）においては、耐震性の高い橋梁に添架するとともに、橋梁の挙動に追従することのできる構造（橋梁に想定される挙動以上の変位を吸収することが可能な伸縮可撓管を設置）とし、水道鋼管の支持部（橋梁への取り付け部）や吊り金具等についても十分強固な構造とすることが要求されます。

上記の要求事項を満たす添架水管橋（橋梁添架管）は、地震時においても橋梁に支持された状態を保つことができます。このため、独立水管橋で必須としている以下の落橋防止システムを省略することができます。

- ・ 支承縁端距離
- ・ 落橋防止構造
- ・ 横変位拘束構造

以上